

雄武町図書館を考える会会議議事録（第7回）

【開催要領】

- 1 開催日時 平成25年1月10日（木）19:00～21:10
- 2 場 所 雄武町民センター 2階会議室
- 3 出席者 11人

《考える会委員》

細田 尚孝	委員	宇野 優子	委員	牧野 京子	委員
小田 嘉幸	委員	城地 剛	委員	本多 芳秋	委員
清水 伸一	委員	久保 静枝	委員	菊地 千秋	委員
金子 徳郎	委員	笹原 和広	委員		

【会議次第】

- 1 開 会（事務局）
- 2 会長挨拶
- 3 議 事

【確認事項】

- （1）これまでの会議の振り返りについて

【協議事項】

- （1）提言事項（素案）について

- 4 閉 会

【配付資料】

- 資料1 第3回雄武町図書館を考える会会議ワークショップまとめ
『雄武町の図書館の問題点は何か？』
- 資料2 第4回雄武町図書館を考える会会議ワークショップまとめ
『私のつくる図書館』
- 資料3 第5回雄武町図書館を考える会会議ワークショップ検証
『私のつくる図書館』
- 資料4 第5回雄武町図書館を考える会会議
『アドバイザーメモ』
- 資料5 第6回雄武町図書館を考える会会議結果

【概 要】

1 開 会（事務局）

2 会長挨拶

本日は、第7回目の雄武町図書館を考える会会議を開催できますこと、嬉しく思っております。後ほど、事務局から提言事項について説明があると思いますが、体操でいえばフィニッシュ、飛行機でいえば着陸、今日が1番大事な会議だと思っております。已年にあやかって、粘り強く進めていきたいと思っております。皆さんよろしくお願いいたします。

3 議 事（会長による進行）

【確認事項】

（1）これまでの会議の振り返りについて

（会 長）

それでは進めて参ります。早速ですが確認事項ということで、これまでの会議の振り返りについて事務局より説明をお願いいたします。

（事務局）

第1回会議において、事務局より図書館の現状と課題、図書館に関するアンケート結果等を提示し、第2回会議においては、本日ご出席いただいておりますが、本会のアドバイザーである糸賀先生に「まちづくりと図書館」と題して全国各地の図書館の事例等についてご講演いただきました。

第3回会議から本格的な協議が始まっておりまして、「雄武町の図書館の問題点は何か？」をテーマにワークショップ形式で意見を出していただきました。その内容が資料1の内容となっております。

第4回会議においては、第3回会議ワークショップ会議で意見の出されました問題点を踏まえて、「私のつくる図書館」「どんな図書館をつくりますか」をテーマに問題点を克服するための項目を洗い出していただきました。その内容が資料2の内容となっております。

第5回会議においては、アドバイザーである糸賀先生をお招きしております。第4回までの会議の内容に対しての助言をいただいた後、第4回会議のワークショップで出された項目に対して、疑問に感じることを黄色の付箋に、賛成・こうしたら良いのでは？というような建設的な意見を青の付箋に、それぞれ付箋を色分けして記入していただきました。それらの内容に対して、再度アドバイザーにご助言いただきました。その内容が資料3の内容であり、資料4が糸賀先生からの助言内容であります。資料では、疑問に感じる項目が黄色、賛成・建設的な意見が緑、糸賀先生からの助言内容を赤として着色しております。

第6回会議においては、第5回会議ワークショップで出されました意見の検証を行いまして、それが資料5の内容であります。各項目に対しまし

て、出席委員に「そう思う・そう思わない」を選択していただいております。提言事項をまとめていくための絞り込みをするという趣旨であります。○安心 ○多機能の分野における、お話し部屋・赤ちゃん部屋・ゲーム部屋については、「必要ではない」が「必要である」を上回っており、この2分野において「すべてにおいて適正規模とすべき」という意見が出され了承されております。

新しい図書館を建設するかについては、次回の会議まで保留とされたところであります。

これまでの会議の結果を踏まえ、本日、素案ということでご提示しております提言事項につきましてご協議いただき、今後の図書館のあり方について方向性を見い出していただければと思います。

(会 長)

只今、事務局から確認事項ということで説明がありましたが、何かございますか。

(委 員)

前回のワークショップ等の結果を説明していただいたんですが、1点、複合施設の部分で検証の欄は空欄、賛成ということで意見も若干書かれているんですが、この部分は費用面も含めて重たい問題だと思います。町では、例えば2035年、20年後の雄武町の人口推計をお持ちになっていると思いますので、それを踏まえて再度検討された方が良いのでは、ということではなかったでしょうか？

(事務局)

将来的な人口推移等も勘案して、皆さんの意見を尊重して検討していく必要があるという認識を持っております。

(委 員)

今、皆さんと協議する材料として人口推計とか今後の雄武町の将来像というものを見据えながら検討しましょうということだったと思いますが。もしかすると、大きな施設ではなく、サービス面も出前ですとか、年齢構成ですとかそういうことを見据えながら結論を出していきましょう、ということだったと思いますが。

(事務局)

そのような認識でよろしいと思います。

(委 員)

資料は用意されているのでしょうか。図書館の規模とかも関係してくると思いますし、図書館は、今だけでなく将来的に今の若い世代にも利用される施設ですので、目先のことだけではなく将来的な部分も含めて、この場できちんと方向性を出すというのが重要なことだと思います。

(事務局)

～ 第5期雄武町総合計画の人口推計を提示～

平成20年の第5期雄武町総合計画策定時における将来人口数値は、平成25年度から始まる後期基本計画の策定に当たって、変更しないこととされており。平成24年の推計値は5,270人となっておりますが、実際には昨年(平成24年)の12月31日現在で既に4,860人に減少しています。平成20年の5,430人というのもあくまで推計値でありますので、単純に差し引いて5年間でどれだけ減少しているかということも示せない状況であります。平成17年の5,507人から昨年(平成24年)の12月31日現在の4,860人を差し引きますと7年間で647人減少しておりますので、1年間で100人弱減少していることになります。

(委員)

今、事務局から説明がありましたが、総合計画の推計値は国勢調査結果をベースにしております。町としては、少なくとも平成22年の調査結果を提示すべきだと思います。私の記憶ですと、平成22年の国勢調査ベースで4,900人ぐらいになっていまして、今、この場で協議するために必要な資料は必ずしも町の総合計画に則ったものではなく、統計ベースできちんと将来の雄武町の姿が見えれば良いということで、20年後の雄武町の人口がどのようにになっているかといいますと、1,200人ぐらい減って3,600人ぐらいになるかだと思います。あと、年齢区分別の図書館の利用率とか、高齢者の比率とかも複合施設を造るかどうかの検討材料になるかだと思いますので、そういう資料があれば良かったのかなと思いますが、今、配付いただいた資料が検討のベースになるのかもしれませんが。

確認なんです。資料5で委員皆さんが「そう思う・そう思わない」ということで、今まで出されたテーマで協議されてきましたが、それと最終的に提言の素案をどうリンクさせようと思っているのか、先ほどの複合施設の問題と図書館を建設するかどうかということにも関連するんですが、提言書はただ意見を並べるという形にするのか、それとも、きちんとこういう方向にします、して下さいというところまで持っていくのか再確認した上で議論した方が良いと思います。

(会長)

提言する時の資料の全体像がわかった方が良いということですね。

(委員)

先ほど人口推計の部分で協議をしていただくということですが、最終的に提言をどうするかということになると思います。ある程度の方向性を出さないで、委員さんの意見を提言として羅列するのであれば別に人口推計だとか将来人口について議論する必要はないと思います。

(事務局)

この会で、本当は1つに纏まった意見になるのが望ましいと思いますが、色々な意見をお持ちの方がいらっしゃいますので、それは1つに纏まらない場合もあると思いますので、こういう意見がありましたという書き方もあると思いますが如何でしょうか。

(委 員)

そうしますと、前回、検証ということで委員の皆さんから意見を出していただきましたが、それとは必ずしもリンクしないのではないのでしょうか。

(委 員)

委員がおっしゃっていることは、前回の会議で可能性があるかないか、カードで検討した内容が、今の素案にリンクされているかという質問でしょう。それとリンクさせて事務局が素案を作ったということで良いのではないですか。

(会 長)

リンクしているということでご理解いただきたい。

(委 員)

建設に対する話があったが、会議があと何回か開催されるということで急ぐ必要はないのではという流れであったと思う。今日、建設について決を取りたいということなので、委員皆さんの意見をお聞きすればいいと思いますが。

(会 長)

それでは、雄武町図書館を考える会の提言事項の課題となっておりました「新築するかどうか」ということについて、皆さんのお考えをお聞きしたいと思います。

新築した方が良いと考える方の挙手をお願いします。はい。続いて、新築しなくても良いと考える方の挙手をお願いします。

(挙手による賛成多数)

続いて、複合施設のことですが、皆さんのお考えを確認したいと思います。

複合施設を考えた方が良いと思う方の挙手をお願いします。はい。続いて、複合施設は考えなくて良いと思う方の挙手をお願いします。

(挙手による賛成多数)

(委 員)

提言内容について、どこまで現実的にできるのか、できないのかという風にしていくのか、まるっきり希望を含めて提言していくのか、提言内容の範囲がまったくわからない。

(委 員)

図書館のみで考えるのであれば大反対である。今の人口・人口推計をみても将来的に3, 000人を割る可能性もある訳で、図書館だけでリピー

ターが増えるかどうか、現状は狭い・暗いだとか色々な問題はあると思うが、本当に本の好きな人しか集まらないと思う、図書館の環境が変わるだけで本を読む人が増えますか。私は増えないと思う。そこに複合施設があつて、誰もが行ってみたい・行って見たらこういうものがあつた・こういう出会いがあつた、そういうものが複合施設の中でクリアできるとすれば、これは図書という1つのレーンと複合施設の多目的で色々な利用方法が合致した場合に、本当に強い意味での地域における図書行政というものができる。図書館だけではだめ、複合施設があつてこそ田舎の図書館機能の充実が図られ、暮らしに密着した居場所が作られると思う。

(委 員)

そうであれば、私たちは図書館を考える会の委員としてここに来ている訳だから、もし、そういう施設をとということであれば、町のもっと上の段階、総合計画の部分での話であればわかるが、私たちとしては、そういう場所であつて欲しい・作ってもらいたいと思うが、図書館を考える会としてどこまでをイメージして提言していくのかという迷いがある。

(委 員)

総合計画の後期基本計画を策定中であり、今後答申されるが、図書館について、図書館を考える会で検討しているので会の意見を尊重して流れをみていきたいという件（くだり）がある。時間的にも難しいので、我々は細かいところまで詰める必要はなく、外郭的な思いをぶつけて、ある程度段階的に新築を目指す、複合施設を作ったら良いというような外郭的なものを出すことによって、教育委員会あるいは町長・議会がどのような方向性に持っていくかということだと思う。我々に細かいところまで詰めることは求められていない。

(委 員)

自分の中で理想であると思った段階で、賛成ということで手を挙げれば良いということですね。

(委 員)

人口推計とかを全く気にしなくてもいいのは、私は違うと思います。反対に挙手しましたが、欲しいか欲しくないかといえは本当は欲しいんですが、利用率を考えた場合、本当にペイできるかを考えた場合、本当にそこまでの施設が必要なのか。ただ欲しいということだけであれば、全員欲しいと思います。

(委 員)

図書館だけだったら反対するという意味は、図書館だけだったら今の図書館でいいんですよ。確かに、図書は少ないかもしれない、狭いかもしれない、暗いかもしれない、図書館で読まなくても借りてきて家で読めばいい。図書館で読む人が少ないということはそういうこともある。あくまで、

将来に対して地域の文化的拠点としての位置づけを考えてくださいということだと思います。

これまで色々な思いで、色々な作業をしながら、糸賀先生にも来ていただいて今まで汗を流している訳です。その結果として、建設した方が良いという意見が多かった、複合施設があった方が良いという意見が多かった、それを町長に提言するためにやっているということではないでしょうか。

(教育長)

皆さんの中で、複合施設というものについてどういうものまで含めて複合施設という判断をされているのか、例えば、読み聞かせスペースを複合施設としてとらえるのか、生涯学習の部屋とか大きなものまでも複合施設としてとらえるのか、そこも整理する必要があるのではないかと思います。

(委員)

限られた時間の中で整理できるんですか。難しいんじゃないんですか。それは素案の中に含まれているんじゃないんですか。財政の問題とかもあるので、行政で整理するほうが良いと思いますが。

(委員)

複合施設というものに対して、皆さんそれぞれのイメージで考えられていると思いますが、私が手を挙げたのは、図書館なので図書館にお金を使うというのが基本です。図書館より複合施設の方が多くなってしまうのはちょっとどうかなと思います。読み聞かせサークルを勧誘したりだとか、読書会を開くとか文化活動の拠点ということで、将来的にサークル活動ができるような場所があればいいと思う。多目的な意味で誰にでも居場所がある図書館というキーワードもありましたし、色々な人による広い交流が生まれるということを考えた場合の複合施設という意味です。それぞれに大きな視点でとらえている人、細かいところで捉えている人もいるので、中々細かい部分までは詰められないと思います。

(委員)

何を選択するかについては、行政にお願いしてやってもらうしかないんじゃないんですか。

(委員)

教育委員会としては、そういった形で提言というか、そういうことを考える会に求めてきたのか、会議が進んでいく中で疑問というか、どっちに向かっていくんだろうかという疑問を感じる事が多くて、今日ここに来て、初めて皆さんが最終的に出す回答が一致していなかった。皆さんも判らずにここまで来たと思いますが、皆さんそれぞれが考える意見、ある意味要望ですよ、それを提言として出していいんですか。考える会としてももう少し意見を纏めるべきだと思います。

(委 員)

それは正論ですが、時間が限られている訳だから、その流れの中で進めていかざるを得ない、総合計画にしても、委員それぞれが色々な思いを持っており、流れの中で本業である行政が議会对応も含めて作り上げていくものだと思います。

(委 員)

提言する内容ですが、考える会としては、こういう風に提言しますと町長に提言するんですよ。ただし、一部こういう意見もありましたという付帯意見はもちろん有りにして、考える会の考えはこういう提言ですという形の提言書になるんですよ。

(委 員)

もちろん、そうなるんでしょ。

(教育長)

皆さんが作り上げていくものですから、1つの意見に纏め上げるのがベターだと思うんですが、私の意見も記述しておいてくださいという意見があれば出さざるを得ないと思います。

(委 員)

考える会としては、こういう提言をしますけど、一部こういう意見もありましたというような、要するに5対6だから5の意見を捨てるということではないんですよ。そうであれば、考える会の提言として十分出せると考えてよろしいんじゃないですか。

(委 員)

建設してほしいという方が多数おられたので、考える会としては建てる方向で提言するけども、反対意見も付記して、多機能に関しては、多機能な施設の建設を望んでいるという大方の提言になった場合、大きな機能、図書館に限った機能の捉え方についてもそうですか。

(委 員)

皆さんフラストレーションがたまっているので、提言が終わった段階で、このメンバーでサークル的な組織を立ち上げて、考える会をベースにして考える機会を残してもらおうということを言いたいです。

(委 員)

提言の後に、仮に建つとなった場合に、考える会とか友の会だとか、図書館に関わる組織を作って進んだ方が、図書館にとっても良いものになるという思いもありますが、今の段階でどの範囲で提言すべきなのか迷いがあって、誰か決めていただければその方向に向かっていきたい。

(アドバイザー)

ちょっとよろしいですか。今、話が出ています複合施設に関して、単独の図書館か複合かと言われれば、普通みんな色々なものがありそうだから

複合が良いと言うんですよ。ただ問題なのは、複合にした時に、図書館が図書館として本来持っているべき機能が損なわれて、それによって、図書館として機能しなくなってしまうと思います。全国的に見ると、きちんと図書館としての要件を備えていれば、他の施設や他のサービス・機関が図書館に入るとするのは随分あります。それは、複合というよりは併設です。図書館の他、例えば、子育て支援センターが同じ建物の中にあり、お互いに連携してそれぞれ古風下サービスを行えば、1足す1は3になったり4になるという意味での付加価値が生まれる訳です。図書館の本来の機能を果たせるのであれば、当然、複合施設はあり得るだろうと思います。ただ、図書館としてどういうことが要件なのか、一定の広さ、職員の配置、蔵書がどれだけあるのか、ゆっくり本を読めるスペースがどれだけ確保できるのか、それが判れば、予算の余裕があつてこういう施設が入ります、2階ではこんなサービスもしていますということになれば、皆さん使いやすくなるだろうと思います。

それで今日の会議は、図書館を考える会の会議なので、皆さんの提言は、図書館の部分についてを纏めるべきだろうと思います。それが最終的に他の機能も含めた複合施設になるかどうかは、フリーハンドの余地は残しておいた方が良いでしょう。ただ、皆さんは、その中の図書館の部分について、こうあつて欲しいという提言を出していくべきではないでしょうか。最終的な複合施設についてはもう少し時間をかけて行政にお考えいただき、どれだけ費用がかかるかということもありますし、その部分については余地を残しておいていいだろうし、図書館の部分については、意見の纏まったところで、こういう図書館であつて欲しいというような意見を纏めれば良いと思います。

(会 長)

複合施設の話が出ましたが、只今、アドバイザーが言われたように、ここは図書館を考える会の会議なので、複合施設については、予算等も加味されるので余地を残しておいて、本来の図書館の部分について考えるということによろしいでしょうか。

(委 員)

だとすれば、考える会の提言事項の中の図書館としての多機能の部分はもう書かれてある訳ですよ。取り立てて複合施設にした方が良くどうか挙手の必要はないように思いますが。

(委 員)

それはアドバイザーの意見であつて、考える会としての考えは出ていないでしょう。

(委 員)

先ほどの話であれば、私は、図書館を考える会の委員としてここに来ま

したので、複合という部分については予算的なものもあるので、私としては図書館について考えていきたい。

皆さんの意見を聞いていると、大きな視点で捉えている方と図書館に絞って捉えている方がいて、どの部分について提言するか確認した方が良いと思います。

(委 員)

次回会議の進め方について、どのように考えているのか。

(事務局)

考え方としまして、本日ご提示している素案が確定ということではありません。あくまで叩き台でありまして、皆さんに協議していただいた上で、こうしたら良いというものを出示していただければということをお願いしたいと思います。その上で、次回の会議の日程について決定しておりませんが、ご意見をもとに修文し、再度ご提示したいと考えています。

(委 員)

それでしたら、複合施設の関係については、この素案若しくはこれまで協議してきた会議の流れに沿って、提言の内容について挙手でいいから皆さんの意見を聞いた方がよろしいのではないですか。皆さん如何ですか。複合施設について良いか悪いか確認するという事でよろしいのではないですか。

(委 員)

どうも議論が煮詰まっていけないのは、協議の柱がきちんと定まっていないからだと思います。先ほどアドバイザーから、1つは、機能について、2つ目は、暮らしに役立つ、3つ目として、居心地の良いというキーワードをいただいたので、そのキーワードを柱にして、先ほどから皆さんから意見が出されていますが、方向性を固める部分と或いは意見をそのまま提言に盛り込んでいくのかどうかというように方向性を固めていけば良いと思います。

複合施設に関しても、ハードなどの部分で色々出ていますが、最終的には機能ということで、先生からアドバイスいただいたように、そこで働く職員がきちんと地域のコーディネーターとして機能的に、図書館であっても生活総合センター的な役割を果たせば、必然的にそれは複合施設になる訳です。最終的には人と機能がマッチングすれば良いと思うのですが、そういった部分できちんと柱を作って、皆さんの意見を提言に盛り込んでいくようにしなければ、次回もまた同じような流れになってしまうと思います。

(会 長)

複合施設については、この場で決するというのではなく、提言事項の中に、これまで協議されてきた内容が盛り込まれているかどうか確認しな

がら進めるということによろしいですか。
(委員一同)
はい。

【協議事項】

(1) 提言事項(素案)について

(会 長)

協議事項の提言事項について、事務局から説明願います。

(事務局)

提言事項についてであります。これまでのワークショップでの協議内容、糸賀先生からの助言を盛り込み、「こういう図書館であって欲しい」という大括りの表現ではありますが、事務局で素案を作成しております。

まず、提言事項(1)であります。『本や資料が充実し、町民が求める情報が豊かに蓄積されている図書館』という表現にしております。1項目として、「図書館利用者の拡大に向けて、図書館の良さや便利さを積極的にPRし、利用者の裾野を広げる図書館であって欲しい。」これは、ソフト面で出された ○サービス～新刊図書お知らせメール、図書館便りの発行 という意見を反映させるものです。

2項目として、「選書やサービスなど利用者の声が反映される図書館であって欲しい。」これも、ソフト面で出された ○リピーター増を定着する対応、図書館の運営には担当者の他に、ボランティアを含めて協力しあう という意見を反映したものです。

3項目として、「日々の生活にすぐ役立つ本、雑誌や新聞、地域資料、パンフレットやチラシなど多様な資料が提供できる図書館であって欲しい。」これも、ソフト面で出された ○知のデパート～調べやすい、知識欲が湧く、資料・本がいっぱい、何かを調べることができる、勉強しやすい、読みたい本がある等 という意見を反映したものです。

4項目目として、「町の歴史等、貴重な資料が保存できる図書館であって欲しい。」これは、ソフト面で意見のあった、 ○文化の拠点～町の歴史を知る場所 という意見と、ハード面で出された、 ○付属施設～郷土資料とは何か という問いに本との回答があり、郷土資料室は必要かとの問いに本という回答(11:0)、物という回答(5:6)を加味し、こういう

表

現にしました。

5項目目ですが、糸賀先生からの助言に基づき、「納本条例を制定し、地域資料の充実を望みます。」という表現にしました。

次に提言事項（２）であります、『さまざまなサービスをより一層向上させ、町民に情報を積極的に提供・発信することを通して、町民の課題解決を積極的に支援する図書館』という表現にしております。

１項目は、「民間施設での貸し出しや返却等が簡単にできる場の確保を望みます。」これは、ハード面で出された、○便利～返却ボックスコーナーを大きく、図書館以外の返却場所を、金融機関等の民間施設での展示・借本を」、○中央図書館と分館～他の場所で貸し出しができるように という意見を反映させたものです。

２項目は、「社会教育施設と有機的に機能連携した図書館運営を望みます。」これは、ハード面で出された、○図書館ばかりではない複合拠点を考える～図書館を主に、複合施設を従と考えるべき、町民センターがあるので難しいのではないか（既存施設との立地条件を克服しての運営）、過疎が進む中で複合施設はいかがか という意見と、ソフト面で出された、○イベント～文化活動の掲示板、講演会・サークル・イベント等の情報発信 という意見を反映したものです。

３項目は、「読書会・鑑賞会などの図書館独自のイベントを企画したり、暮らしと密着した今をとらえた企画・文化継承等が提案できる図書館であって欲しい。」これは、ソフト面で出された、○サービス～トピックスコーナーの設置、鑑賞会（映画・DVD）ポップによる本の紹介、読書会や句会の開催を という意見と、ソフト面で出された、○イベント～イベントを通した絵本の読み聞かせ、紙芝居、昔の遊びを という意見を反映したものです。

４項目は、「各学校への調べ学習の情報提供や、高齢者施設へ出向いての学び・遊び等の提供等、図書館から出向くサービスの充実を望みます。」これは、ハード面で出された、○中央図書館と分館～出前で良いのでは」という意見と、アドバイザーからの助言内容 を反映したものです。

５項目は、「幼児がお母さんにゆっくり本を読んでもらえる場所、子どもがゆったりと本が読めるスペース、学生などが学習しやすいスペース、高齢者などが新聞を読んだり、読み聞かせなどで、ゆっくりと過ごせるくつろげるような場所であって欲しい。」これは、ソフト面で出された、○イベント～イベントを通した絵本の読み聞かせ、紙芝居、昔の遊びを」という意見、同じくソフト面で出された、○知識習得の場～楽しい学習の場、幼児・子どもから高校生そして社会人等多くの町民が参加できる、高齢者が本に親しめ遊べる施設を という意見を反映したものです。

６項目は、「地域図書館としての役割が生かされ、国立国会図書館や北海道立図書館、さらに他の公立図書館とのネットワークが充実した図書館であって欲しい。」これは、ソフト面で出された、○イベント～国立や道立図書館から借本を行う（経費削減） という意見を反映したものです。

7項目は、「市民の多様なニーズに応えることができる、より専門性の高いレファレンス・サービスの一層の充実を望みます。」これは、ソフト面が出された、○専門～専門知識のある司書の配置を という意見と、調べたい本もすぐわかる検索システムの充実 という意見を反映したものです。

最後の項目ですが、「案内がわかりやすく、利用者に親切・丁寧で利用者と温かい関係が築ける職員であって欲しい。」これは、ソフト面が出された、○リピーター増を定着する対応～職員の資質（笑顔・やさしい言葉）、規則に縛られない対応が大切 という意見を反映したものです。

次に、提言事項（3）ですが、『安全・安心して利用できる図書館』という表現にしました。

1項目は、「高齢者や障がい者等が安心して利用できるように配慮した図書館であって欲しい。」これは、ハード面が出された、○バリアフリー（高齢者・障がい者）化、○安心～ロードヒーティング、駐車場を広く という意見を反映したものです。

さらに、『ゆったりとくつろげ落ち着ける、開放感のある居心地の良い図書館』という表現にしました。

1項目は、「何度も行ってみたいと思える、幼児からお年寄りまでが集い、交流が生まれる図書館であって欲しい。」これは、ソフト面が出された、○期待・来たい、○ぬくもり、○行ってみたい&行きたい、という意見とハード面が出された、○雰囲気～明るい、開放的、きれいな所、落ち着くところ等、○快適～エアコン等空調設備の整備 という意見を反映しました。

2項目は、「座ってゆっくりと本を読んだり学習するスペース等が確保されている多機能・便利な図書館であって欲しい。」これは、ハード面が出された、○多機能～交流（談話）スペース・会議スペース・閲覧スペース・読み聞かせコーナー、○便利～本棚低く、見やすい書架、全体的に低く陳列され利用者それぞれの目線に配慮、書庫を広々と、所持品整理棚等、○スペース・什器～閲覧スペースを広く、書架の間を広く、本を選びやすい等、パソコン・インターネットスペース、AV・視聴覚スペース という意見を反映したものです。

以上、素案として作成しました提言事項について説明しましたが、皆さまご協議いただき修文等を施したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（会 長）

ここで、本会のアドバイザーである糸賀先生からご助言をいただきたいと思っております。糸賀先生よろしくお願いいたします。

（アドバイザー）

資料5で、「そう思う・そう思わない」の選択で検証を行っていますが、最初のテーマの中の「BGMを流す」、これは私が言ったことですが、アロマに対していったことであり、アロマを焚いた時の匂いは好き嫌いがあります。来館者の少ない図書館では、雑誌や新聞をめくる音が耳ざわりになることもあり、BGMを流す方法もあるということですので誤解のないようお願いしたいと思います。雄武の図書館はぜひ来館者を増やして、BGMを流さなくても良いようにしてください。

それから、付属施設で「郷土資料とは何か」ということに「本である」、「郷土資料室は必要？」ということに「本（物）」との記述がありますが、かつて雄武町の人達が使っていた物、これは博物館や資料館で取り扱われる物であり、図書館で取り扱うのは記録として残っている物、つまり本ということです。誤解のないようお願いしたい。

素案の内容は盛り沢山で良いと思いますが、まず、「地域のためにどういう機能を果たすべき施設か」というのが提言事項の1になるんだろうと思います。今、盛んに言われているのが、図書館は地域の情報拠点である、情報も沢山集めるし、町民の方たちが町の中に情報発信するという意味で地域の情報拠点であるということです。例えば、子どもさんが学校で作った作品を学校で展示していると、なかなか町民の方たちにはわからない、郵便局や銀行で展示している所もありますが、図書館は日常多くの人達が出入りするので、図書館に展示するのも良い、情報を集めるインプット、情報発信するアウトプットの両面あった方が良いと思います。そういう意味で、「地域の情報拠点」という言葉がキーワードになると思います。

次に、「町民の課題解決」これは私も行っているし、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」にも書いてありますが、一般の人達にはわかりにくいので、これを言うんだったら「暮らしに役立つ図書館」だと思います。それは、趣味や体力づくり・健康づくりでもいいですし、仕事をされている人は仕事にとって役立つ、家族で旅行に行こうと思った時に色々調べられるという意味で、生活に密着している、それをわかりやすく「暮らしに役立つ図書館」という表現が多くの人に受け入れられると思います。

次に、「安全・安心して利用できる図書館」ですが、これも今、全国どこの図書館でも言われるんですが、表現としては、「誰にでも居場所のある」が良いと思います。安心してくつろげる、自分の好きな一定の時間を過ごせる、「居心地の良い図書館」と同じような意味になりますが、子どもからお年寄りまで、現役世代で働いている方、家族で来ても1人で来ても居心地の良い図書館にしていけば多くの人に利用されると思います。内容的には良いと思いますが、キーワードとしてそういう言葉を使っていくとイメージが広がると思います。さしあたって申し上げます。

(会 長)

それでは、提言事項の協議に入っていきたいと思います。提言事項1、提言事項2、提言事項3とあります。今日は1項目ずつ協議する時間がありませんので、全体を通して皆さんのご意見をいただき、その後、糸賀先生からアドバイスをいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。次回の会議で1項目ずつ協議したいと思います。

(委 員)

先ほどアドバイザーから大変良い表現と言いますか、助言のありました、暮らしに役立つ、居心地の良い、地域の情報拠点という表現を盛り込んでいただきたい。

(会 長)

他にございませんか。私の方から、図書館を考える会をどういう形になるかわかりませんが、ぜひ継続していただきたい。そういう文面をどこかに盛り込んでいただきたいと思います。

(アドバイザー)

先ほどもご意見がありましたが、図書館ができた後、その図書館の運営やあり方についても継続して地域の方々の声を反映できるように、そういう運営がなされるようにということを盛り込んだ方が良いと思います。それは、場合によっては、提言事項の4になるのかもしれませんが。提言事項1の中に、選書やサービスなど利用者の声が反映される図書館であって欲しいと書いてありますよね。選書やサービスだけではなく、図書館の運営そのものなんです。ボランティアがどういうことを行うのか、あと、図書館友の会を置いてあるところもあります。図書館法の中に定められている図書館協議会を設けて図書館運営に対して意見を出していくという、最近の地方自治の仕組みとして一般的な住民参加型の図書館運営ができたほうが良いと思います。

(会 長)

全体を通して何かございませんか。無いようですので、これで協議を終わります。

(事務局)

次回の会議につきましては、極力、委員の皆さんに出席いただけますよう日程調整の上、開催したいと考えております。

これで、第7回雄武町図書館を考える会会議を閉会いたします。ありがとうございました。